



ベートーヴェン生誕250年記念

NCB音楽祭[★] 2020

★ BEETHOVEN To Wish You A Merry Christmas ★
クリスマス
♪ 聖夜にベートーヴェンはいかが? ♪

2020年12月25日(金)

アクロス福岡シンフォニーホール

開場/17:30 開演/18:30

主催：西日本シティ銀行 / 公益財団法人 福岡文化財団

後援：西日本フィナンシャルホールディングス・福岡市・福岡市教育委員会
公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団・西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」

ベートーヴェン生誕250年記念

NCB音楽祭^{*}₂₀₂₀

* BEETHOVEN To Wish You A Merry Christmas *

♪ 聖夜にベートーヴェンはいかが? ♪

PROGRAM

公演プログラム

ベートーヴェン

ピアノ協奏曲第5番変ホ長調「皇帝」より第1楽章 ピアノ:岡田 将
「ロマンス」第1番ト長調 ヴァイオリン:南 紫音
「ロマンス」第2番ヘ長調 ヴァイオリン:南 紫音
交響曲第十八番「クリスマスの贈り物」(編曲:山下康介)

朗 読

「僕で良ければ」 読み手:鶴賀 皇史朗

マスカーニ

歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》より
「アヴェ・マリア」 ソプラノ:ティツィアーナ・ドゥカーティ



指揮:井崎 正浩 / 演奏:九州交響楽団 / 総監督・構成・演出:広渡 勲
司会:こはま もとこ



総監督・構成・演出 / 広渡 勲 (演出家・昭和音楽大学客員教授)



福岡市出身。早稲田大学を経て東宝演劇部入社。
多くのミュージカルや歌舞伎公演を手がける。ジャパン・アート・スタッフに移籍後、(財)日本舞台振興会のプロデューサーとして、ミラノ・スカラ座、ウーン国立歌劇場、パリ・オペラ座、英国ロイヤル・オペラ等世界の主要歌劇場やバレエ団の招聘を手がけ、バーンスタイン、クライバー、ベジャールをはじめ世界的な人脈を築く。演出家としては指揮者佐渡裕とコンビを組み、「メリー・ウィドウ」(2008年)、「蝙蝠」(2011年)で大成功をおさめた。2014年の西日本シティ銀行創立10周年記念音楽祭から「歓喜と喝采」シリーズの構成・演出を担当。2000年フランス共和国文化省から「芸術文化賞シュバリエ」叙勲。

指揮 / 井崎 正浩



福岡市出身。福岡教育大学在学中に国立ウーン大学に留学。
1995年ブダペスト国際指揮者コンクールで優勝。同年5月国立オペレッタ劇場で「メリー・ウィドウ」を指揮してデビュー。以来、サヴァリア交響楽団芸術監督兼常任指揮者、ブダペストオペレッタ劇場客演指揮者などを歴任。2007年からソルノク市音楽総監督。2015年にはソルノク市における長年にわたっての文化芸術活動に対して、「カポシヴァーリ・ジュラ賞」(ソルノク市文化功労章)を授与され、同年8月にはハンガリー政府・大統領名によって民間人に与えられる最高栄誉である「金十字功労勲章」を授与された。現在、ハンガリーに在住する唯一人の日本人指揮者として高い人気を誇ると共にその実力が高く評価されている。加えて、2020年12月1日にこれまでの日本・ハンガリーの二国間の音楽交流促進への貢献に対する功績が認められ「令和2年度外務大臣表彰」を授与された。

ピアノ / 岡田 将



福岡県出身。桐朋女子高等学校音楽科(現在男女共学)在学中に日本音楽コンクール優勝。モーツァルテウム音楽院、ベルリン国立芸術大学に留学。1999年オランダのリスト国際ピアノコンクールで日本人として初めて優勝。国内外のオーケストラと共演。また、オール・リスト・シリーズ、バッハ：パルティータ全6曲コンサート、ベートーヴェン：ピアノソナタ全曲シリーズ、2018年にはリスト：超絶技巧練習曲全曲コンサートを開催し話題となる。また、同年12月にはスペインの巨匠チェリスト ルイス・クラレットとの共演でCD『ベートーヴェン：チェロ・ソナタ全集』(オクタヴィア/レコード芸術準特選盤)をリリース。高い評価を得ている。神戸女学院大学准教授。

ヴァイオリン / 南 紫音



(C)Shuichi Tsunoda

北九州市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。これまでに篠崎永育、篠崎美樹、西和田ゆう、原田幸一郎の各氏に師事。現在、ドイツのハノーファーに在住し、クシシトフ・ヴェグジンに師事。

2000年、第54回全日本学生音楽コンクール福岡大会小学校の部第1位。同年、第10回日本クラシック音楽コンクール全国大会小学校の部第2位(1位なし)。2002年、第56回全日本学生音楽コンクール福岡大会中学校の部第1位。2004年イタリア・ナポリで行われた第13回アルベルト・クルチ国際ヴァイオリン・コンクールで15歳にして優勝。2005年イタリア・デビューを果たす。同年10月、ロン＝ティボー国際音楽コンクール第2位を受賞すると共に、リサイタルで最も優秀な演奏をした者に贈られる「サセム賞」も受賞した。2015年には、世界でも難関で知られるハノーファー国際ヴァイオリン・コンクールにおいて第2位を受賞した。

ソプラノ / Tiziana Ducati



イタリア・トリノ出身。トリノ音楽院を経てミラノ・スカラ座研究生として学ぶ。声楽コンクールの世界最難関といわれるヴェルディ国際声楽コンクールで優勝。7つもの国際声楽コンクールで全て優勝という快挙を果たす。歌唱技術が卓越、天性の声は明るく美しいだけでなく憂いと深い音色をたたえており、イタリアでもトップの実力を持つソプラノである。2013年より日本でのコンサート活動を本格的に開始。現在、東京を拠点にプライベートレッスン、マスタークラスでの個人指導、ならびに平成音楽大学で客員教授として後進の指導にもあたっている。

オーケストラ / 九州交響楽団

1953年創立。アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、「天神でクラシック」、「名曲・午後のオーケストラ」の自主公演のほか、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ファミリーコンサートなど内容は多岐に渡り、福岡県を中心に九州各地で年間約130回の演奏活動を行っている。2013年小泉和裕が音楽監督に就任。これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。



朗読 / 鶴賀 皇史朗

ナレーター・俳優・脚本家・演出家。

2001年、博多座初のオリジナル作品「金子みすゞ物語」のオーディションにて、みすゞの弟役に抜擢。以降、俳優業を開始。2015年、主演ラジオドラマ「鉄の河童」が文化庁芸術祭賞大賞を受賞。2016年よりNHK「実感ドドド！」のナレーションを担当。

編曲 / 山下 康介

1974年、静岡県生まれ。東京音楽大学作曲専攻卒業。映画「花筐／HANAGATAMI」「その日のまえに」などの大林宣彦監督作品に多く携わるほか、NHK連続テレビ小説「瞳」やドラマ「花より男子」、アニメ「ちはやふる」などの音楽がある。

現在、洗足学園音楽大学教授、東京音楽大学客員教授。一般社団法人日本作編曲家協会(JCAA)理事。

司会 / こはま もとこ

長崎市出身。フリーアナウンサー。

熊本大学文学部を卒業後、NHK熊本放送局で夕方の報道番組のキャスターを務める。2002年エフエム福岡に入社。2018年4月からフリーになり、現在はエフエム福岡で朝の生ワイド番組「MORNING JAM」や、クラシック番組「名曲classics」などを担当。趣味は合唱。

舞台監督 / 鶴野 良平 (株)九州舞台
青木 一雄 Staff Team Artisan
田中 敬子 Staff Team Artisan
舞台美術 / 木村 康彦 (株)九州共立
照明 / 竹之内昌治 (株)九州舞台

音 響 / 稲益 絵美 (株)九州舞台
映 像 / 深水 智之 (株)九州舞台
大 道 具 / (有)メイク
ヘア&メイク / 本田 義晴 arch
片山かすみ bruna.HAIR

苦しみの先の希望を信じて、 作曲を続けたベートーヴェンの生誕250周年

～「コロナの年」の世界に力強いエール～

今年(2020年)はドイツのボンに生まれオーストリアのウィーンで亡くなった作曲家、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)の生誕250周年に当たります。様々な記念コンサート、唯一のオペラ《フィデリオ》の上演などが世界各地で華やかに競われるはずでした。

ところが昨年末の中国を起源とし、またたく間に拡大した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により、世界のホールや劇場は今年2月以降、相次いで閉鎖や公演中止&延期に追い込まれました。6月後半辺りから演奏者の間隔を十分に開けたソーシャル・ディスタンス(社会的距離の設定)や客席の感染症対策を施し、クラシック音楽のライブが戻ってきたときの主役は、やはりベートーヴェンでした。過去にも地震や洪水、戦争、テロなどの大惨事の犠牲者や被災者に向け、音楽家がチャリティーコンサートを開く際、中心はいつもベートーヴェンだったのです。

ベートーヴェンの音楽には傷ついた人の心をいやすだけでなく、再起への希望を与える力があるとされてきました。理由は、自身の運命や社会と闘いながら、つねに未来志向の楽曲を懸命に書き続けたベートーヴェンの人生そのものから来ます。

1802年10月6日、ベートーヴェンが弟たちに宛て、ウィーン近郊で記した「ハイリゲンシュタットの遺書」をご存知ですか？すでに耳の病が悪化して難聴に苦しみ、作曲家の未来を絶望して自ら命を絶とうとするまでの前半、それでも希望を捨てず、自身の芸術の完成に向かって生き続けようと決意する後半で構成され、ただの遺書ではありません。「死から私を引き止めたのはただ芸術です。私は自分が果たすべきと感じている、すべてのことを成し遂げないうちに、この世を去ることはできません」という一節に、ベートーヴェンの不屈の精神がよく現れています。

ベートーヴェンが生きたのは、革命の時代でもありました。パリの民衆がバステューユ監獄を襲撃、フランス革命が始まったときには19歳。ルイ16世とオーストリア王家出身の王妃、マリー・アントワネットが処刑されたのは1793年。ナポレオン軍がウィーンに迫り、何とか講和を成立させたのは1797年…と、ヨーロッパ社会の激動期に青年時代を送ります。「交響曲第1番」の世界初演は1800年。「音楽の父」と呼ばれたJ・S・バッハ(大バッハ)の死後わずか50年で、全く新しいスタイルの作品を生み出した才能は当時から、抜きん出ていました。

ちょうど同じ時期、英国に端を発した産業革命がヨーロッパ各地に広がります。王侯貴族でも農民でもない「第3の階級」の富裕市民層(ブルジョワジー)が台頭するなか、ベートーヴェンは次第に貴族の“お抱え”を脱し、今でいうフリーランスの作曲家の史上第1号にもなりました。楽曲や演奏法の革新性、運命と立ち向かう闘争心などの側面、あるいは文学者や音楽教師が崇めた「楽聖」のイメージから、ベートーヴェンを「とっつきにくい芸術家」と思ったり、もじゃもじゃ頭の肖像画で「夜道で出くわしたくないアブナイおじさん」と決めつけたりする日本人が多いのは残念です。実際にはモーツァルト

に匹敵する「鍵盤演奏と作曲の天才少年」として22歳でウィーンに現れたイケメン音楽家であり、弟や甥に過剰なまでの愛情を注ぐ優しさも持ちあわせていました。女性に対する憧れを抱きながら、なかなか言葉や態度に示せないシャイな一面もあり、どこか宇宙人のようなモーツァルトより、はるかに熱く人間臭い作曲家だったといえます。

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲第5番変ホ長調「皇帝」より第1楽章 作品73

最初の管弦楽曲でもある「第0番変ホ長調」を含め、1784年から1809年までの間に書いた6曲の「ピアノ協奏曲」の最終モデル。ウィーンがナポレオン軍の爆撃にさらされている渦中に作曲を進めた背景が、華麗さの中に陰翳を与えています。

第1楽章アレグロは変ホ長調4分の4拍子。管弦楽の派手な総奏を受けて即、ソロが華麗に入りますが、これは序奏。すぐに伝統的な協奏曲のスタイルに戻り、管弦楽とソロが有機的に絡み合いながら雄大な音楽を形づくっていきます。

ベートーヴェン / 「ロマンス」第1番ト長調 作品40・第2番ヘ長調 作品50

作曲順序は出版番号と逆で第2番が1798年、第1番が1802年です。それぞれ演奏時間8分に満たない小品ですが、「優しく思いやりがあり内気」なベートーヴェンの一面をはっきり伝えます。

ベートーヴェン(山下康介編曲) / 交響曲第十八番「クリスマスの贈り物」

生誕250周年のスペシャル・プレゼント。ベートーヴェンが1800年(30歳)から1824年(54歳)までの間に作曲した「第1番ハ長調作品21」から「第9番《合唱付》ニ短調作品125」までの「交響曲」全9曲が2020年クリスマスのアクロス福岡シンフォニーホールで順不同、10分以内の「早わかり面白メドレー」に生まれ変わります。聴きながら、番号を当ててください。

マスカーニ / 歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》より「アヴェ・マリア」

イタリアの作曲家ピエトロ・マスカーニ(1863-1945)の出世作「歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》(田舎の騎士道)」(1890)の中で最も有名な間奏曲の旋律に同国の詩人、ピエトロ・マッツォーニ(1833-1907)がオリジナルのテキストを与えました。「哀れな人間の足を支えてください」「信仰と希望の心を呼び覚ましてください」……。

シューベルトなど、ラテン語祈祷文に基づく「アヴェ・マリア」に比べ、マリアに救いを求める悲痛な思いが強調されています。

解説執筆 / 池田 卓夫
(音楽ジャーナリスト@いけたく本舗®)

1958年生まれ。日本経済新聞社でフランクフルト支局長などを経て、文化部クラシック音楽担当編集委員を長く務めた。2018年退職後は「いけたく本舗」の登録商標でフリーランスの執筆の他にプロデュース、解説MC、コンクール審査などを手がける。

ご家庭でお楽しみいただける

◆ NCB音楽祭2020 ◆

- ◆ 2020年12月31日(木)19:00~20:25 FM福岡にて放送!
- ◆ 2020年12月31日(木)~2021年2月28日(日)まで
西日本シティ銀行のホームページからNCB音楽祭2020の
映像をご覧ください。

西日本シティ銀行ホームページ

https://www.ncbank.co.jp/corporate/chiiki_shakaikoken/report/202012_ongakusai/



西日本シティ銀行



公益財団法人

福岡文化財団



©GROOVISIONS

【ご来場・ご鑑賞に関する注意事項】

音楽祭会場では、ご来場者および公演関係者の健康と安全を最優先とし、
新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に努めます。

- 少しでも体調がすぐれない場合は、ご入場をお控えくださいますようお願い申し上げます。37.5℃以上の場合は入場をお断りいたします。また開催日の2週間以内に37.5℃以上の発熱、新型コロナウイルス陽性者との濃厚接触があった場合のご入場はご遠慮ください。
- 必ずマスクを着用の上、ご入場ください。
- 受付時に検温を実施いたします。
- 入場時に必ず、手指の消毒をお願いいたします。
- 新型コロナウイルス感染防止のため、指定席以外でのご鑑賞はお断りいたします。
- ロビーなどでは密を避け、他のお客様と出来るだけ距離を取っていただきますようお願いいたします。